



坂本町長

野口 次に、3年を一区切りとし、新しいスタートとしてこれからの将来展望をお願いします。

小倉会長 以前からの問題であるが高齢化と少子化が進んでいて、深刻な問題となっております。南部町の良い所は福祉型地域社会の実績が出来つつあることで、これをさらに検討して行政の中で反映してもらいたいと思います。法勝寺地区地域振興協議会も4つの専門部の活動が充実してきており、ふるさとづくり事業計画を中身の濃いものにしたいと思っています。昨年は、一式飾りの支援で説明用広告版を作成しました。長田神社の神幸式の復活を支援できないものかとも思います。また、特産物としてまこもたけの栽培、生産販売を進めています。名所旧跡の案内看板の設置、桜並木の整備を順次行っていききたいと思います。それと青少



竹本会長

年の自然観察会を行い、小中学校の連携を密接にして新しい地域づくりを自分たちで育てる気風をつくり役場と一緒にやっていきたいと思っています。昨年、アンケートを行い、これら年間計画の的になっていきます。3年間で顔合わせが終わり、心あわせも半分がすんだ今、中期計画を皆さんと力を合せて作っていききたいと思っています。

景山会長 地域計画の具体的なものの一つに、伝統行事を中心に1月から一年を通して写真や記事で記録したいと思います。芝オケの様な伝統文化も継承していききたいと思っています。それと昨年挫折した事業である収穫祭は今年はずせひともやりたいと思っています。それも、建物の中ではなく田んぼの中で、サトイモ畑で行いたいと思っています。あと、米子コンベンションホールで邪馬台国山陰説なるものを聞いて、そこに頻繁に出て



遠藤賢二 会長

くる母塚山の整備、神話の掘り下げをしてみたいと思っています。
田貝会長 安心して暮らせる地域づくりを目指して、青バトと称して40名からなるボランティアの防犯パトロールを行っています。また、各集落毎に防災リーダーを作っています。これを育成していききたいと思っています。もう一つは地域の交流の拠点整備を行い、エプロンを中心に町づくりをしていきたいと思っています。

中本会長 県の南部バイパスの工事での天津運動公園にかわり、新しいグラウンドができることに、皆さんが大変期待しています。グラウンドゴルフ場、遊び場が家の近くにほしいという要望があります。また、自宅での葬祭ができなくて米子の会館を利用する人が多く費用がかなりかかるという声があります。公民館等を利用してやれば費用があまりかか



遠藤典男 会長

らないではないかと思いい、この仕組みを全体で作りたいと思います。また、私案ですけどコミュニティセンターをとるのに公民館では日時に限りがあり、いつでも利用できるように民家を借りて、みんなで話しや食事ができるサロンのでアットホームな施設の創設を考えています。

遠藤典男会長 将来についてです。一つは地域の要望にこたえることとして福社型のミニ生協を皆さんに出資してもらい作る事です。もう一つの考えは、地域を発展させる策として年間を通じて緑の田園構想の基に自主財源の確保を考えています。自主財源がなければ地域の発展はないと思いい、特産品の開発がみんなの知恵と活力で時間がかかってもよいからできればと思っています。



田貝会長

野口 自主財源を確保するのは大変ですがとても大切です。町長なにかアドバイスのものはないですか。

町長 いま、自主財源の話がありましたが、町の公共施設などの指定管理者を積極的に受けてもらうことを模索してほしいと思います。また、町では所得向上プロジェクトを立ち上げ、養魚場、薬木・薬草の栽培、小ハウス建設等の補助制度をつくり所得向上の支援をする考えも持っています。



景山会長

野口 新年早々で前向きな話をしていたいただきました。次に遠藤賢二会長お願いします。

遠藤賢二会長 町と一緒に進めたいのはカントリーパークと山村広場を整備し、子供たちや若者たちが集まってくるような施設にすることです。また、緑水湖周辺の桜並木は湖面側に雑木が生えて見えにくいため雑木を整理し、我々で管理したいと思えます。それと、少子高齢化が現実問題で、いかに地域が元気になるかが重要なポイントであります。2年前より炭づくり体験を西伯小学校4年生に限って行って、これには、子供も父母も地域の人も一緒に楽しんでいきます。人と人とのつながりや助け合いを大切にするのを培う環境の原点になれば良いと思っています。

竹本会長 大國地区としましては、3つの事を考えています。具体的な例としておおくに祭を一昨年から復活させました。当時は物品の販売で終わっていましたが、作品の展示、健康・スポーツ体験と経年変化し、全集落が参加しました。二つ目は、子供にふるさと体験・思い出作りをさせたいと思ひ、子供会議を作り、活動として山歩きをしました。途中



小倉会長

あけびを食べたり、同行した桐原氏にきのこの講習を受けたたり、ザリガニ釣りをしました。また、体験教室で竹細工やしめ縄、ワラ馬を作ったりしました。三番目に災害が発生した時に初期対応をどうするか、現状を把握し、事前対応をどうするかという事にも取り組んでいきたいと思ひます。今後共、イベントを開催した時に地域の住民がどれだけ参画したかが重要であり、地域の皆さんの参画と協力をお願いできればありがたいと思ひます。

野口 最後に町長にまとめて頂きます。

町長 正月早々豊かな気持ちになりました。役所の中ではとてもこんなに多くの話題は出てきません。各地区が個性を生かして南部町が大きく発展していく礎がみなさんの思ひの中にあると確信いたしました。



中本会長

南部町は、海や名山もなく、門前町でも城下町でもありません。しかし、桜並木や日本を代表する誘致企業があり、立派な病院もあります。町づくりの基盤をもっていて、それぞれでの時代で努力をしてきました。それを町の気風として受け継ぎ、次の世代に渡すことが大切と思ひます。昨年の5周年で町民歌、町民音頭をつくり、全国でも数少ないブツポウソウを町の鳥にしております。豊かな環境を大切にしながら歌や音頭の明るいリズムに合わせて新年を元気にがんばっていききたいというメッセージを町民に送っております。町がにぎやかになるようにがんばっていききたいと思ひます。よろしくお願ひします。ありがとうございました。

野口 ありがとうございます。